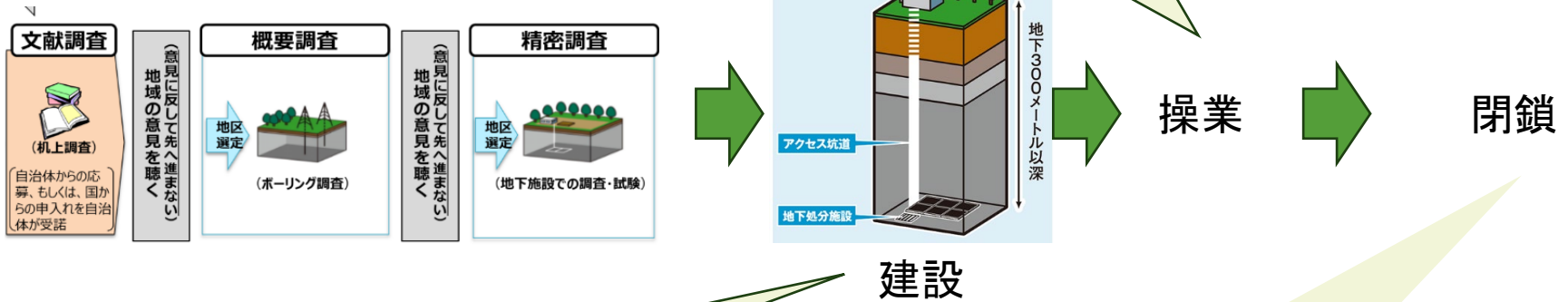


Group 3

時間軸と課題

- ・地下水のバリアシステムへの影響（腐食、膨張、熱）
- ・地形の特性
- ・その場所の地形把握

- ・作業員への安全



- ・作業員への安全
→有害ガスの発生
+坑道への地下水流入
- ・建設コスト
- ・自然破壊(地下への影響)

- ・テロ
- ・宇宙人のメッセージ
- ・環境

文献調査～選定

- ・地下水のバリアシステムの影響
 - 水質調査(③)
 - バリアシステムの健全性(①)

- ・地層の特性
 - 弾性波探査(③)

- ・その場所の地形検討
 - 露頭観察(③)

幌延深地層研究センターで実習した内容

建設

- ・作業員の安全性
 - ガスの発生(④、②)
 - 坑道への地下水流入(④、②)
- ・地下への影響
 - 建設中の地下水の汲み上げが必要(④)
- ・建設コスト(⑤)
- ・自然破壊:森林伐採、地下水汚等(⑤)

操業

- ・作業員の安全性(②、⑤)
 - 坑道への地下水の漏れ出し
 - メタンガス発生によるガス爆発の可能性
 - メンテナンス

操業は
幌延などの深地層研究センターで得たデータや、
過去の事例などによる調査結果から検討

放射性物質の輸送・保管に関する影響については
海外の事例から検討

閉鎖

管理(④、⑤)

- 取り出す可能性
- どこまで人が関わる必要があるか

高レベル放射性廃棄物

(ガラス固化体)



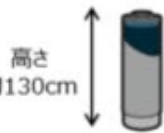
放射能の高い廃液をガラス原料と融かし合わせてステンレス製容器(キャニスタ)の中で固めます。

寸法：直径／約40cm
高さ／約1.3m

総重量：約500kg

ガラス固化体

直径：約40cm



高さ
約130cm

重量：約500kg

オーバーパック

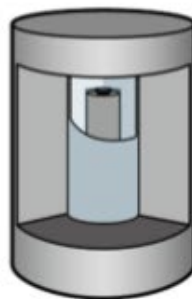
(金属製容器)

厚さ：約20cm

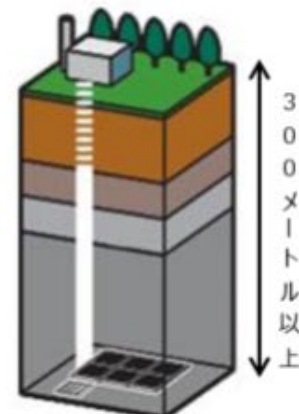
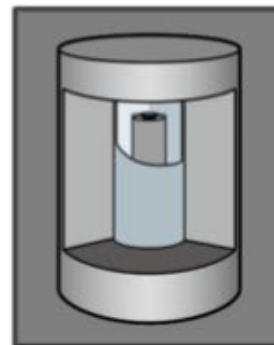


緩衝材(粘土)

厚さ：約70cm



岩盤



300メートル以上